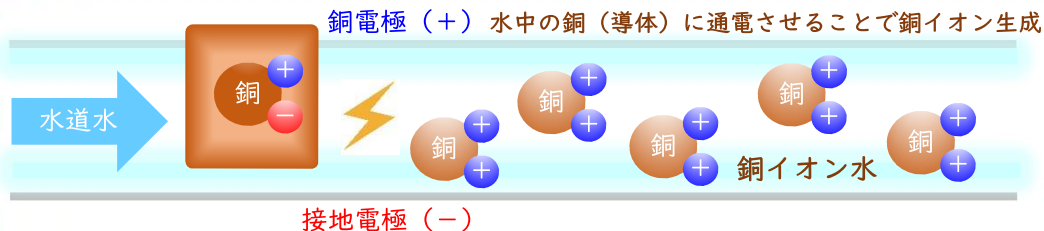


【銅イオン発生仕組み】



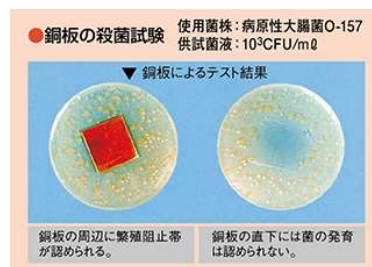
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

CuTopia
株式会社シーユー・トピア

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

【銅イオンの有効性が確認されている細菌・ウイルス】

- ・O-157・・・菌培養抑止効果
- ・レジオネラ菌・・・殺菌、抗菌効果
- ・クリプトスポリジウム・・・感染性不活化効果
- ・ノロウイルス・・・感染性不活化効果
- ・インフルエンザ・・・感染性不活化効果 など



病院などでは、人の接触頻度の高いドアノブや手すりに銅を使用して感染症対策を施している例もございます。

※各種感染症や試験結果等は、一般社団法人日本銅センターHPで公開されております。<http://www.jcda.or.jp/feature/tabid/88/Default.aspx>

【よくあるご質問】

- Q1. リースは利用できますか？
→ ご利用頂けます。5年リース 月々お支払 1万円台～（税別）
- Q2. メンテナンス・消耗品の交換などは必要ですか？
→ 利用状況に応じ、2～3年に1度の銅カートリッジ交換が必要です。
- Q3. 保証期間、法定耐用年数は何年ですか？
→ 保証期間1年間、法定耐用年数5年
- Q4. 機器の取り付けもお願いすることは可能ですか？
→ 取り付け作業は簡単のため、お客様ご自身でお願いしておりますが
- Q5. 大空間に噴霧したいのですが、そのような使い方・設置は可能ですか？
→ クールスポットシステムとの組み合わせ、大型加湿器を使用するなど、ご希望・ご予算に合わせたご提案も可能です。
- Q6. 個人でも購入は可能ですか？
→ 個人のお客様への販売は致しておりません。

Cuコロナバスター^{mini} (仮)

銅の超抗菌効果で 抗菌・抗ウイルス感染症対策



CuTopia
株式会社シーユー・トピア

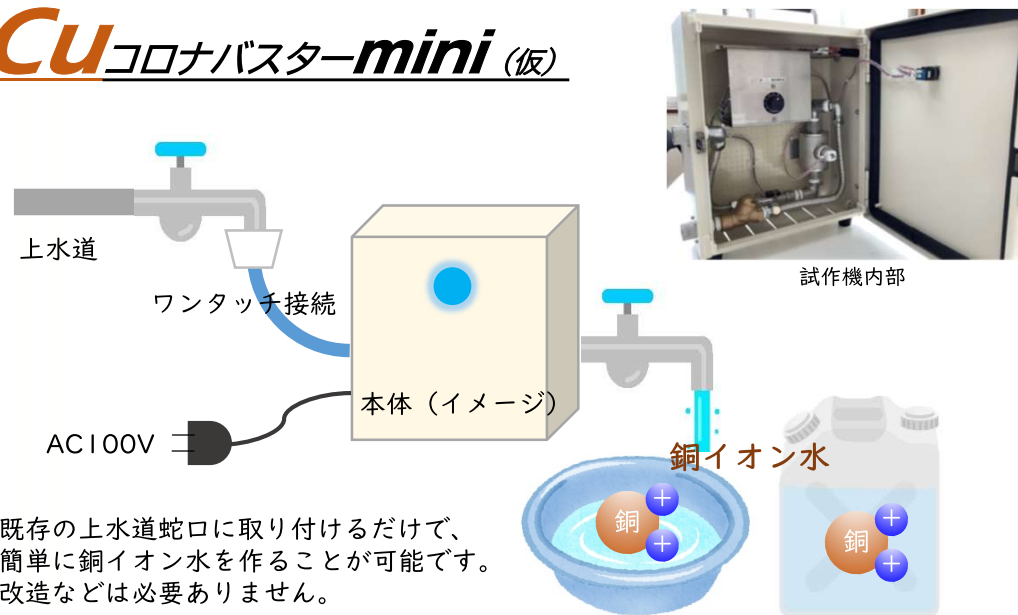
株式会社シーユー・トピア
〒541-0044 大阪府大阪市中央区伏見町2丁目6番4号
TEL:06-4706-7633 FAX:06-4706-7623
<https://www.cutopia.co.jp/>

株式会社 シーユー・トピア

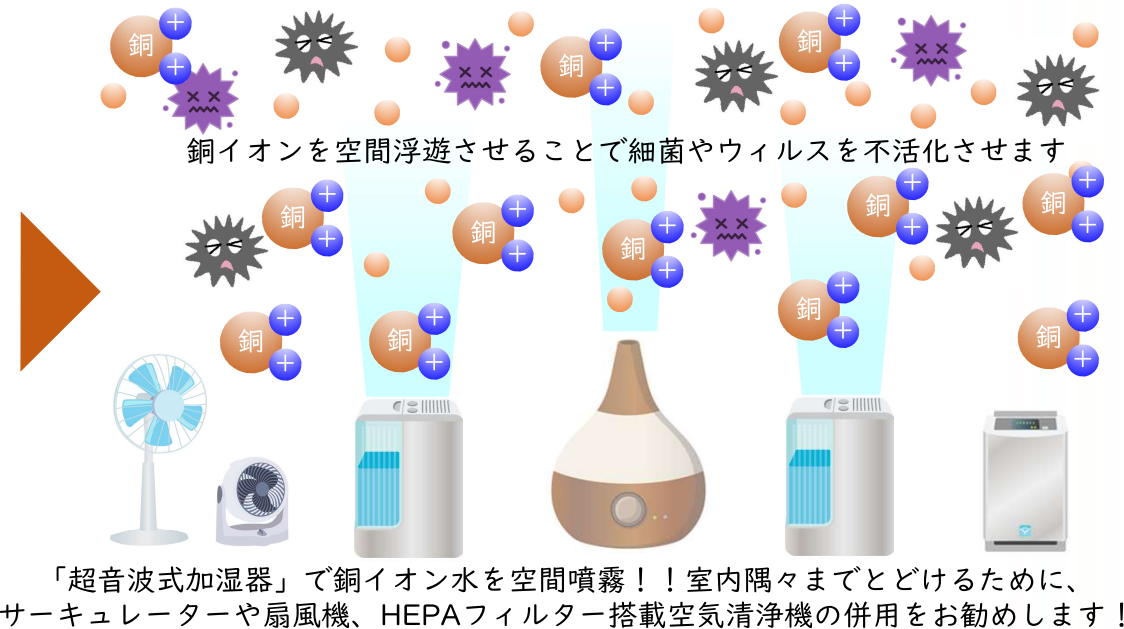
超抗菌力をもつ銅イオン水の空間噴霧で感染症予防対策！

10円玉や水道管・電線など、身近な暮らしの中で使われている「銅」に、細菌やウイルスを死滅させる「超抗菌作用」があるのをご存知でしょうか？食中毒の原因となる「O-157やノロウイルス」、毎年流行する「インフルエンザウイルス」、温浴施設などで感染する「レジオネラ菌」などに、銅の超抗菌作用が有効であることが様々な試験で実証・証明されています。これらの効果は水にわずかに溶け出した銅イオンが細菌やウイルスの活動を抑え、細胞を破壊することで死滅させる微量金属作用によるものです。このような銅イオン水を手軽に生成可能にしたのが当社の銅イオン水生成装置「Cuコロナバスター（商標登録申請中）」です！

コロナバスター-mini (仮)



既存の上水道蛇口に取り付けるだけで、簡単に銅イオン水を作ることが可能です。改造などは必要ありません。



「超音波式加湿器」で銅イオン水を空間噴霧！！室内隅々までとどけるために、サーキュレーターや扇風機、HEPAフィルター搭載空気清浄機の併用をお勧めします！

コロナバスター-mini (仮) の特徴

当社銅イオン生成装置は純度99.9%の純銅を使用し、電極電解法で「Cu²⁺」のイオンを発生させます。

■人に優しく安心してお使い頂けます

発生銅イオン濃度 0.5～1mg/L、水道水質基準値以内で無害・無味無臭。肌が敏感な方も安心です。

■抗菌・抗ウイルス効果が長時間持続します

物に付着した銅イオンは揮発することがないため、長時間「抗菌・抗ウイルス効果」が期待されます。

■毒性や引火性ゼロ・金属の腐食やゴム類の劣化もありません

エタノールや次亜塩素系消毒薬のような危険性、機器故障の原因となる心配などはありません。

主要仕様	銅イオン水生成装置
流量	2～20L / 分
電極	純銅100g (純度99.99%)
電気定格	AC100V 50/60Hz 10W
接続口径	IN:Rc1/2 OUT:Rc1/2
濃度調整	可変ボリューム (0～100%)
使用水压	一般水道水压範囲内

※新型コロナウイルスへの有効性は、国内外の研究機関などで検証作業が進められている段階ですが、20年4月に北里環境科学センターや米国疾病対策センター (CDC) より「銅・銅合金は新型コロナウイルスの不活化に極めて有効」とする見解が示されています。